

## 基準内賃金の2.0ヶ月分を回答

### 本部申13号・2021年度夏季手当に関する申し入れ

### 夏季手当の取り組み3本柱を通じた問題解決を勝ち取ろう!

中央本部は申13号「2021年度夏季手当に関する申し入れ」について、6月10日に3回目となる団体交渉を行いました。

経営側より示された「2.0ヶ月」回答、及び「成績率(増額)の適用をおこなわないこと」との要求に対する「社員の貢献度を勘案して適用する」とした回答を受け、本部交渉団は席上妥結せず帰りの検討となりました。

稟議により東日本ユニオンとしての対応を協議した結果、中央本部は最終的に妥結するとの判断に至り、6月11日に経営側に回答しました。

新潟地本では全機関で

- 経営側からの回答 ■
1. 基準額  
基準額は、基準内賃金の2.0ヶ月分とする。
  2. 支給日  
令和3年6月29日(火)以降、準備でき次第とする。
- ※ □ 頭回答  
成績率(増額)については赤字、黒字関係なく、社員の貢献度を勘案して適用する。

職場集会を開催し、満額獲得に向けて組合員の想いを結集させてきました。

また、各労働組合へメッセージを送り、国鉄労働組合新潟地方本部よりメッセージをいただくなど、職場で働くJR労働者総体の想いとして夏季手当の取り組みを創り出してきました。

満額回答実現には至り

ませんでしたが、組織と運動の強化・拡大をめざすとともに、2021年度夏季手当の取り組み3本柱を通じた問題解決に向け取り組みを進めていきます。

さらに、現場での募集時に謳われた「プロジェクトを通じて企画業務や他部門等、キャリアアップの拡大につなげる」「社員の要望や意見を取りまとめプロジェクトをより円滑に遂行させる」とも目的であるとし、

シンクについては、使い勝手についての問題は無いとの認識を示しました。

リクライニングシートについて音が気になるという声は聞いているが、現場との意見交換では著しく支障があるとは聞いていないとしました。

靴を脱いで足を伸ばすことが出来なくなつたとの評価については、逆の意見もあり全体の意見を見据えて休養の取り方を判断したとしました。

申13号として新潟支社に申し入れ  
ダブルレットの交換作業は労働時間として扱うこと

各職場では現在、社員に貸与されているダブルレット端末の更新・交換が行われていないと聞かれています。

データ移行を含めたダブルレット端末交換に関する諸作業について、一部の職場では労働時間の取り扱いは関係して曖昧な指示が行われていることから疑問の声が寄せられています。

ダブルレット端末は自己啓発などの目的だけではなく、業務遂行の上で必要不可欠なツールです。

交換に関する諸作業は

- 申13号 申し入れ項目
1. ダブルレット端末の交換に関する諸作業に要する時間は労働時間として取り扱うこと。
  2. 回答は2021年6月15日までに書面で行うこと。

### 酒田運輸区間内改良

新潟地本は5月20日に、申9号・酒田運輸区における間内改良に関する申し入れの団体交渉を行いました。

### 働き甲斐が向上・社員が休みやすくなったとの認識を示す

より管理者同士の連携や共有の迅速化が図られたとしました。

また「自らの意欲を伸ばしていく」内容としては、マイプロや委員会活動など気軽に相談できる環境、指導担当などがフリーアドレスとなり高まった自由度、区長に相談しやすいレイアウトとなりスッキリとした中で乗務できる、など様々なプラスがあると認識を示しました。

酒田運輸区の間内改良について支社側は、「財源は本社であり、老朽の度合いなど設備投資の優先順位をみて新潟支社が選定しました。」

間内改良の目的について支社側は、「変革2027」の実現に向けて輸送サービススタッフのオフィスにふさわしい職場環境を整備することで、社員の働き甲斐の創出、及び自らの意欲を伸ばしていくことのできる職場風土の実

現であり、「輸送サービススタッフにふさわしい」とは、全ての社員が生き生きと働くことができる職場であることとしました。

「働き甲斐の創出」については、ワンフロア化によりコミュニケーションがとりやすくなった、トイレや風呂が綺麗になったなど、プロジェクトメンバーが限られた予算の中でどうすればより働きやすくなるか考え可能な限り取り入れ、レイアウト変更

酒田運輸区に間内改良プロジェクトを立ち上げた目的を質すと、現場第一線の社員が企画業務や調

酒田運輸区の間内改良プロジェクトを立ち上げた目的を質すと、現場第一線の社員が企画業務や調



2021年度冬期の取り組みに対する検証を求める申し入れ  
トレース結果に基づく  
冬期の課題議論を求める

記録的豪雪となった2020年度の冬期に発生した問題を自然災害として済ませることなく、次期冬期の取り組みに活かすために、新潟地本は申4号・

レイアウトを含めて酒田運輸区の社員の声でもあり、働きがいは向上し、これまでより多くの社員が休みやすくなったとの認識を示しました。

意見が社員から出ている

- 申14号 申し入れ項目
1. 「2020年度冬期の取り組み」の成果と課題を明らかにすること。
  2. 申4号「雪害により発生した諸問題に関する申し入れ」提出2021年1月25日・団体交渉2021年4月5日) 要求項目における未回答事項の回答を行うこと。